

令和6年 6月18日 (火)

あさひの日だまり

NO.10

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～色々な行事が続いています～



なんて素敵な子。思わず「そうかそうか」と声をかけながら「この子の切なる願いがどうぞ叶えられますように」と思いました。

あちこちで子どもたちの輝く姿を見ることができて心洗われる1日をいただきました。4年生の皆さんそして先生方1日本当にありがとうございました。

～ほたる祭りが行われました～

昨年初めて辰野のホタルを観ました。童謡公園のホタルの姿は今でも感動とともに思い出すことができます。その後駅前からの露店を見るには見たのですが、急いで通り過ぎてしまったのでその規模は実感していませんでした。今年は、金管が駅前での発表があつたので頑張りを観させてもらう前後に左右の露店を最初から最後まで歩いてみました。どこまで行ってもお店が続いており、こんなに大きな規模の出店は今まで見たことが



活動を通してすてきな姿が見られます

17日(月)に4年生と一緒に長野見学へ行ってきました。巡ったのは、県庁・善光寺・宿坊で昼食・おやき作り体験でした。バスの中のレクリエーションは子どもたちが自分たちで準備してきた内容でした。上手くアナウンスができなくて、途中で止まってしまうような場面もありましたが、子どもたちは仲間の頑張りに答えようとじっと待ってあげていて、優しい心根を感じ本当に嬉しい気持ちになりました。

それぞれの見学地でも子どもたちの頑張りと素直さに感心しました。遅れてしまいそうな仲間の手を引いて列へ戻ろうとする仲間がいました。県庁では、説明して下さる係の方の言葉を一生懸命にメモする子がいました。善光寺では「おびんずる様」の体に触ると触った場所によいことが起こるという話を聞いて「校長先生、ぼく口のところ触りたい」という子がいました。抱きかかえてあげるとその子は一生懸命に口の部分を触っています。そして「ぼく口が悪いからさあ」と言うのです。な



東小の子どもたちも楽しみました

ありませんでした。ほたる祭りの規模を本当に実感しました。全国に誇るホテルと出店の賑わいです。改めて辰野町のすごさを実感しました。

今年は、金管と4・5年生の踊りの連が2つ祭りに参加させてもらいました。金管は毎日の練習の成果を、踊り連は体育館で指導者の方を招いて夜の練習をした成果を頑張って発表しました。どちらも保護者の皆様と地域の皆様のご協力をいただきました。心より感謝いたします。少し恥ずかしそうに、でも誇らしげに子どもたちは頑張りました。お祭りに直接参加させてもらえた経験は大きいです。やがて成長して大人になった時、必ずこの日のことを思い出します。そして「もう一度あの日にもどりたいな」と思ってくれると思うのです。そして卒業生の何人かはこの地に根を張り地域を盛んにしてくれます。そんな機会がいただけたことは本当に大きな宝でした。



～クラブ活動が始まりました～

自分の興味への挑戦です

先週の13日(木)に第1回のクラブ活動がありました。まず全体会でクラブ指導者の皆さんを紹介しました。今年は全部で15のクラブを発足させていただきました。指導者の皆様は各クラブに複数名の方がおられますので、当日は20名を超える皆さんにご来校いただきました。お仕事の都合をつけて指導にあたって下さる方も多くおられます。本当にありがたいことです。基本的に子どもたちの希望に沿ったクラブを発足し指導者の方をお願いいたしました。急なお願いであったのにご都合をつけて下さいました。「ちゃんと指導できるか不安です」とおっしゃりながらお引き受け下さった方もいます。何度かクラブを重ねるうちに、指導者の方にとってもクラブ活動が楽しみになりますように願っています。そして、子どもたちが何か新しい出来事に出会い、挑戦し、今まで気づかずにいた新しい自分の存在を発見してくれることを願っています。指導者の皆様今年1年間どうぞよろしくお願いいたします。

今年発足したクラブ活動は以下の通りです。

卓球クラブ バドミントンクラブ バスケットクラブ ドッジボールクラブ サッカークラブ 野球クラブ 茶道クラブ クラフトクラブ イラストクラブ 調理クラブ 木工細工クラブ 折り紙・紙飛行機クラブ 切り絵クラブ

おもちゃを作って遊ぶクラブ 理科クラブ
(以上15クラブ)



第1回のクラブでは、写真のようにまず最初に今年1年間自分が挑戦してみたいことについて意見交換を

しました。それを指導者の皆さんにお聞きいただいて、できるだけ子どもたちの意向に沿った活動を展開していただくと考えました。子どもたち一人ひとりの願いを完全に実現することはできませんが、自分の挑戦の場として選

んだクラブですのでできる限り願いを聞き入れてあげたいと考えました。指導者の皆様には多様な願いに対応していただくこととなりご苦勞をお掛けします。何卒よろしくお願いいたします。そして子どもたちがクラブの時間を楽しみにしてくれることを心から願っています。

